

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naramsyo.jp

記帳会

【日時】
4月15日(水)
13:30
【持ち物】
領収書・帳面・
筆記用具・電卓・
パソコン
(お持ちの方)



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

融資を実現「今を乗り切ろう」

新型コロナウイルスの感染拡大による中小業者の苦境が広がる中、連日、奈良民商に「融資を借りたい」「現金給付は受けられるか」などの相談や問い合わせが相次いでいます。

川崎佳世さん＝美容＝（済美南支部）は日本政策金融公庫に新型コロナウイルス感染症特別貸付を申し込み、200万円の融資を実現。「迅速に対応してもらえた。資金を活用して今を乗り切ろう」と話しています。

政策公庫が迅速な対応 新型コロナ特別貸付

介護施設が入所停止

売上が5〜7割も減少

売上は介護施設や病院への出張カットが8〜9割を占める川崎さん。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2月中旬、介

護施設から「遠慮して下さい」と言われ、3月に入り、病院からも入場を断られてしまいました。3、4月のスケジュール帳は真っ白、3月には売上は50%も減少し、4月からは70%もの



取材で訪ねると、川崎さんは息子さんの髪をカットしていました。

減少が見込まれる事態に。

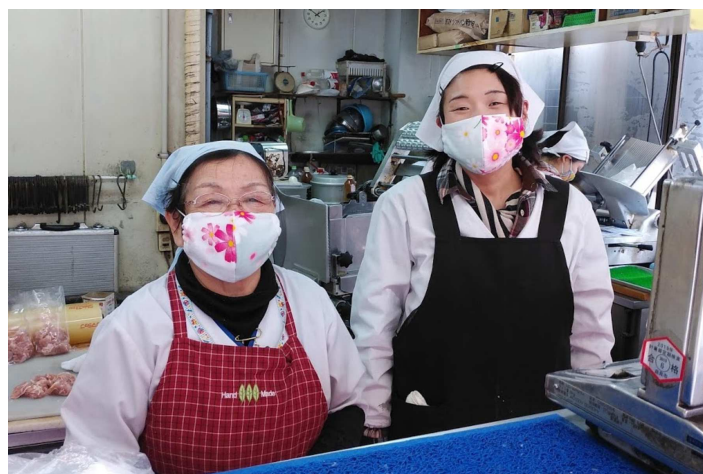
民商に相談して コロナ特別貸付を申し込み

困った川崎さんは3月27日、民商に相談。昨年同時期と比較して5%以上売上が減っていたらば3年間無利息の特別貸付が借りられることがわかり、早速、書類をそろえて政策金融公庫に融資を申し込みました。

懸命に訴え、融資を実現 資金活用してがんばろう 仲間にも勧めたい

4月7日に面談があり、融資の決定は今月末になる」と話す担当者、川崎さんは「家計は私にかかっている」と懸命に訴えたところ、翌日の8日、200万円の融資が決定しました」との電話が入りました。返済は1年間の据え置き後、8年間となりました。

川崎さんは、「精一杯話せばわかってもらえる」。この資金を高齢者や障がい者に対応した店づくりに活用して、店舗の売上を伸ばしたい。婦人部員や会員の仲間にも融資の活用を勧めたい」と話しています。



おそろいのマスクで 商売ががんばってます

精肉店「肉のシラカワ」を営む白川千江子さん（富雄支部）は、従業員のYさんと一緒に、おそろいのピンクの花柄カーゼ生地マスクを付けて元気に頑張っています。

お客さんが作ってくれたの。これで安心して仕事ができるわ」とニコニコ笑顔で話していました。